

Markdownサンプルファイル

サンプルです。

目次

- [はじめに](#)
- [見出し](#)
- [見出し2](#)
 - [見出し3](#)
- [段落](#)
- [書式設定](#)
- [リスト](#)
- [リンク](#)
- [画像](#)
- [コードブロック](#)
- [表](#)
- [ブロッククォート](#)
- [水平線](#)
- [まとめ](#)

はじめに

このMarkdownサンプルファイルは、Markdownの基本的な書式オプションを示すためのものです。Markdownは、テキストを簡単に読みやすい方法でフォーマットするための軽量なマークアップ言語です。

見出し

Markdownの見出しは、`#` 記号を使って作成します。`#` の数によって見出しのレベルが決まり、`#` が最も大きい(H1)、`#####` が最も小さい(H6)です。

見出し1

見出し2

見出し3

見出し4

見出し5

見出し6

段落

Markdownの段落は、空行で区切られた単純なテキストブロックです。新しい段落を作るには、Enterキーを2回押します。

これは最初の段落です。

これは2番目の段落です。

書式設定

Markdownでは、以下の構文を使ってテキストを書式設定できます：

- 太字: ****太字**** => 太字
- 斜体: **斜体** => 斜体
- 太字かつ斜体: *****太字かつ斜体***** => 太字かつ斜体
- 取り消し線: ~~~~取り消し線~~~~ => 取り消し線

リスト

Markdownでは、順序付きリストと順序なしリストの両方がサポートされています。

順序なしリスト：

- 項目1
- 項目2
- 項目3

順序付きリスト：

1. 項目1
2. 項目2
3. 項目3

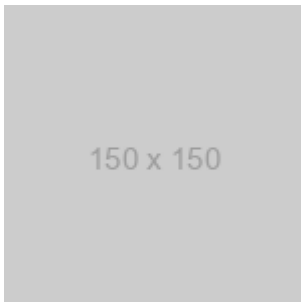
リンク

Markdownでリンクを作成するには、以下の構文を使います:

[リンクテキスト](#)

画像

画像を含めるには、以下の構文を使います:



コードブロック

Markdownでコードブロックを作成するには、コードを4つのスペースでインデントするか、バッククオート(`)`を使います。

インデントされたコードブロック:

```
print("Hello, World!")
```

フェンスされたコードブロック:

```
def hello():  
    print("Hello, World!")
```

改ページ

`<div class="page" />` を使います。

表

Markdownで表を作成するには、以下の構文を使います:

列1	列2	列3
行1, 列1	行1, 列2	行1, 列3
行2, 列1	行2, 列2	行2, 列3

ブロックQUOTE

MarkdownでブロックQUOTEを作成するには、`>` 記号を使います。

これはブロックQUOTEです。
複数行にわたることができます。

水平線

Markdownで水平線を作成するには、3つ以上のハイフン、アスタリスク、またはアンダースコアを使います。

まとめ

これがMarkdownの基本的な書式オプションの概要です。
より高度な使用方法については、Markdownのドキュメントを参照してください。